

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590017001	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (G1 ~ G3) / German I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟2F 21番講義室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	多文化社会学部2号館 (総合教育研究棟12F)		
担当教員TEL/Tel	819-2932		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日14:30-16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標/Goal	ドイツ語検定5級合格		
授業方法 (学習指導法) /Method	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業内容/Class outline/Con	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
キーワード/Key word	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	秋田静男 (他) 『イン・ドイチュラント』朝日出版社 (2016) 独和辞典については講義中に指示 (自分の判断で買わないこと)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	予習・復習の実行状況 (15%) 講義中の取り組み方 (15%) 定期試験1 (個別試験) (40%) 統一試験準拠試験 (30%) 統一試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。多文化社会学部の学生は「ドイツ語I」に関しては統一試験に準拠した問題で試験を行います。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)	http://h-semi.com/		
学生へのメッセージ/Message for students	各回に指示する自宅学習をきちんとこなすことが何より重要です。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツ語・オランダ語・英語の関係 アルファベット 発音の規則		
第2回	ドイツ語のあいさつ 人称代名詞と動詞の人称変化		
第3回	sein動詞、疑問詞		
第4回	haben動詞、語順、決定疑問文		
第5回	名詞の性		
第6回	定冠詞、名詞の格変化		
第7回	名詞の複数形		

第8回	不定冠詞・否定冠詞
第9回	所有冠詞
第10回	不規則変化動詞
第11回	名詞の3格、疑問代名詞補足
第12回	不規則変化動詞補足、名詞の3格
第13回	人称代名詞、非人称
第14回	会話練習 テスト対策
第15回	まとめ テスト対策
第16回	試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590017002	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (L1~L6_F3) / German I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	L1~6 F1~3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ドイツ語はインド・ヨーロッパ語と呼ばれる語族に属する西ゲルマン語で、他に主な言語として英語がある。同じ語族の英語の知識を参考にしながら授業を進める。私のドイツ在住・通訳体験などのエピソードを授業に盛り込む。		
授業到達目標 / Goal	ドイツ語文を人称変化や格変化にとらわれず、滑らかに発話すること。		
授業方法 (学習指導法) / Method	ドイツ語の学習で不可欠な動詞の人称変化を学生全員が慣れるまで「私は長崎へ行きます」や「私は長崎に住んでいます」などのドイツ語文を使い、主語を一人称、二人称、三人称そしてその単数と複数に換えて練習します。習熟度を見るために、二人一組で「あなたはどこへ行きますか」「私は長崎へ行きます」などの会話ゲームをします。これによって全員が難なく自然に発話できるようになります。 次に名詞の性と定冠詞・不定冠詞などの1格から4格の格変化に慣れるために、男性名詞の「父は息子に叔父の万年筆をプレゼントします」、女性名詞の「母は娘に叔母のハンドバックをプレゼントします」、中性名詞の「少女は子供に童話のおもちゃをプレゼントします」の各文を発音します。習熟度を見るために「誰が息子に叔父の万年筆をプレゼントしますか」の質問に「父が息子に叔父の万年筆をプレゼントします」あるいは「父がそれを彼にプレゼントします」で答えるゲームをします。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『気分はドイツ』(Deutsch macht Spaß!) 著者: 本郷健治 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	小テストと定期試験で70%(小テスト50%、定期試験50%)そして共通テスト30%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	独和辞典持参。古本でもかまいません。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ビデオでドイツの若者達を紹介。ドイツ語のアルファベットの練習。ドイツ語で自己紹介。		
第2回	動詞の現在人称変化(1) sein, habenの現在人称変化、定形の位置。		
第3回	名詞の性。性に応じた冠詞の格の用法。		
第4回	複数形の定冠詞の格変化、男性弱変化名詞。		
第5回	動詞の現在人称変化(2) 特に注意すべき動詞。		

第6回	人称代名詞の3格、4格の用法。
第7回	定冠詞類、不定冠詞類、疑問詞の1格から4格までの用法。
第8回	定形の位置。並列の接続詞。
第9回	従属の接続詞。主文と副文。
第10回	2格・3格・4格と結びつく前置詞。
第11回	3格または4格と結びつく前置詞。特定の前置詞と結びつく動詞。
第12回	話法の助動詞の人称変化と用法。
第13回	副文中の話法の助動詞。
第14回	動詞の3基本形。
第15回	過去形で日記を書く。
第16回	総復習。

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590017003	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (E1~E6) / German I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ssakamoto@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学代表)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標/Goal	100程度の語数からなる自己紹介・人物紹介ができる		
授業方法(学習指導法)/Method	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業内容/Class outline/Con	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
キーワード/Key word	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	新倉真矢子(他著)『ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語 ノイ』 第三書房 ISBN978-4-8086-1190-3 独和辞典については講義中に指示(自分の判断で買わないこと)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	宿題(20%) 講義中の取り組み方(10%) 定期試験(個別)(40%) 共通試験(30%) 共通試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	教科書に付属している別冊問題集から宿題を出します。毎回の宿題の正答率を全体成績の20%とします。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツ語のあいさつ、アルファベット 【人と挨拶ができる】		
第2回	一人称と二人称の動詞の人称変化 【専攻や職業・国籍が言える、出身地・居住地を尋ね、答えることができる】		
第3回	三人称の動詞の人称変化 【人の出身地・居住地・職業・国籍などについて説明できる、短いテキストを読む】		
第4回	復習(現在人称変化)		
第5回	名詞の性、発音の規則 【身の回りの物の名前を正しい発音で挙げるができる】		
第6回	名詞の性、不定冠詞・否定冠詞の1格、複数形、1~10までの数字 【身の回りの物について説明できる】		
第7回	名詞の性、定冠詞の1格、人称代名詞の1格、形容詞(述語的用法) 【身の回りの物について説明できる】		

第8回	復習（冠詞の変化）、2・3・4格の冠詞、人称代名詞の1～4格
第9回	不規則変化動詞の人称変化
第10回	会話練習（ロールプレイ） 【レストランで注文ができる】
第11回	文法補足（動詞の位置、疑問詞、Ja, Nein, dochの使い方）、11から100までの数字
第12回	所有冠詞 【家族の紹介ができる、家族について話すことができる】
第13回	原形不定詞を使う表現 【自分の趣味や余暇活動が表現できる】
第14回	人物を紹介するテキストを読む、自己紹介の文章を書く、クラスメートについての紹介文を書く
第15回	まとめ（共通試験の準備）
第16回	試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590017004	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (M1~M3) / German I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝 / Satuka Masakatu		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Object Student	M1~3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問等はメールにて随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(ドイツ語共通シラバスから) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する(接続法も含む)。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。 		
授業方法 (学習指導法) /Method	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストに従いながら、文法の解説とドイツ語文の和訳・練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 ・発音やドイツ語文の朗読練習もする。 ・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。 		
授業内容/Class outline/Con	<p>下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。 (共通シラバス)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、発音 <ul style="list-style-type: none"> ・母音：特にei, ey, eu, äu, ie の発音、長母音か短母音かの区別 ・子音：音節末のb・d・g, ch, 語末のig, j, qu, s, ss, ß, 語頭のsp・st, sch, tsch など ・基数と西暦の読み方 2、初級文法 <ul style="list-style-type: none"> ・人称代名詞と現在人称変化 ・sein, haben, werden ・平叙文、命令文、疑問文 (決定疑問文、疑問詞のある疑問文) ・定冠詞・不定冠詞と名詞の格変化、複合名詞の性 ・格の用法 ・不規則変化動詞 ・定冠詞類・不定冠詞類、nichtかkeinかの区別 ・名詞の複数形と男性弱変化名詞 ・前置詞 ・形容詞 3、コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶表現 ・感謝とお詫び ・名前、住所、出身地の尋ね方、答え方 ・時刻の尋ね方、答え方 4、文化および社会事情 <ul style="list-style-type: none"> ・敬称2人称と親称2人称、VornameとNachnameの使い分け <p>テキストは16課から構成されているので、前期は8課まで進む。2回の授業で1課を終えるぐらいのペースで進む。</p>		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「新生ドイツ語文法 V6」 在岡 進 著、朝日出版社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	共通試験 (30%)、定期試験 (約70%)、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先（TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	文字と発音、アルファベットの名称を覚える
第2回	発音練習の続き、第1課、人称代名詞、動詞の現在人称変化
第3回	第1課の続き、文の作り方、語順など、練習問題
第4回	第2課、文法上の性と格（名詞）
第5回	第2課の続き、名詞と格変化、練習問題
第6回	第3課、定冠詞類、不定冠詞類
第7回	第3課の続き、所有冠詞、否定冠詞、練習問題
第8回	第4課、不規則動詞の現在人称変化、命令形など
第9回	第4課の続き、動詞の現在人称変化の総まとめ、練習問題
第10回	第5課、前置詞の格支配など
第11回	第5課の続き、前置詞の融合形、練習問題
第12回	第6課、名詞の複数形など
第13回	第6課の続き、冠詞類の格変化の総まとめ、練習問題
第14回	第7課、形容詞の格変化、人称代名詞、練習問題
第15回	第8課、話法の助動詞、未来形、練習問題
第16回	前期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590017005	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (M4~M6) / German I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝 / Satuka Masakatu		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Object Student	M4~6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問等はメールにて随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(ドイツ語共通シラバスから) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、接続法を除くほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。 		
授業方法 (学習指導法) /Method	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストに従いながら、文法の解説と本文和訳・練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 ・発音やドイツ語文の朗読練習もする。 ・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。 		
授業内容/Class outline/Con	<p>下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。 (共通シラバス)</p> <p>1、発音</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母音：特にei, ey, eu, äu, ie の発音、長母音か短母音かの区別 ・子音：音節末のb・d・g, ch, 語末のig, j, qu, s, ss, ß, 語頭のsp・st, sch, tsch など ・基数と西暦の読み方 <p>2、初級文法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人称代名詞と現在人称変化 ・sein, haben, werden ・平叙文、命令文、疑問文 (決定疑問文、疑問詞のある疑問文) ・定冠詞・不定冠詞と名詞の格変化、複合名詞の性 ・格の用法 ・不規則変化動詞 ・定冠詞類・不定冠詞類、nichtかkeinかの区別 ・名詞の複数形と男性弱変化名詞 ・前置詞 <p>3、コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶表現 ・感謝とお詫び ・名前、住所、出身地の尋ね方、答え方 <p>4、文化および社会事情</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬称2人称と親称2人称、VornameとNachnameの使い分け <p>テキストは10課から構成されているので、前期は5課まで進む。各課に2~3回の授業を充てる。</p>		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「一歩ずつ 楽しいドイツ語」 小川さくえ、片岡律子 著、 同学社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	共通試験 (30%)、定期試験 (約70%)、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先（TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	文字と発音、アルファベットの名称を覚える
第2回	発音の続き、第1課、本文（自己紹介）の和訳、動詞の現在人称変化、人称代名詞など
第3回	第1課の続き、本文の和訳、定動詞の位置、練習問題
第4回	第2課、本文（人物の紹介）の和訳、不規則な現在人称変化など
第5回	第2課の続き、本文の和訳、命令形、練習問題
第6回	第2課の続き、本文の和訳、命令形続き、練習問題
第7回	第3課、本文（これは～です、兄弟姉妹）の和訳、定冠詞、不定冠詞、格の用法など
第8回	第3課の続き、本文の和訳、人称代名詞、練習問題
第9回	第3課の続き、本文の和訳、人称代名詞の続き、練習問題
第10回	第4課、本文（パン屋で、何時ですか）の和訳、名詞の複数形、数詞など
第11回	第4課の続き、本文の和訳、時刻の言い方、練習問題
第12回	第4課の続き、本文の和訳、時刻の言い方の続き、練習問題
第13回	第5課、本文（道を尋ねる、Paulの一日）の和訳、前置詞など
第14回	第5課の続き、本文の和訳、前置詞の続き、疑問詞、練習問題。
第15回	第5課の続き、本文の和訳、練習問題、文法の全般的な補足
第16回	前期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590017006	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (T1~T5) / German I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之 / Koga Masayuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1 ~ T5		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2077/2078 (教養教育事務局)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日昼休み及び授業前後 (教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標 / Goal	ドイツ語Iで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	文法説明 表現練習 対話形式		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 清野智昭 ドイツ語の時間 <話すための文法> 朝日出版社 (辞書は当面不要)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	共通テスト (30%)、定期試験 (30%)、平常点 (40%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	必要出席回数を上回る。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	平素より自発的に基本文法確認レポートを調べ、完成させておくことが望ましい。このクラスでは通常メールや電話で学生と担当教員が個別に連絡を取り合うことはありません。用件は教室内で直接教員に伝えるか、緊急の場合はまず上記教養教育事務局まで連絡して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツ語のアルファベットと基本的なあいさつ		
第2回	ドイツ語の発音 発音の3大原則・注意が必要な母音と子音		
第3回	人称代名詞と動詞の現在人称変化 (1) 人称代名詞 (1格)・動詞の人称変化		
第4回	人称代名詞と動詞の現在人称変化 (2) seinとhaben・ドイツ語の語順・おもな疑問詞		
第5回	名詞の性と格 (1) 名詞の性・名詞の格		
第6回	名詞の性と格 (2) 定冠詞の格変化・複数形・合成語		
第7回	定冠詞類と不定冠詞類 (1) 定冠詞類の格変化・不定冠詞類の格変化		
第8回	定冠詞類と不定冠詞類 (2) 所有冠詞・否定冠詞kein・否定の副詞nicht		

第9回	人称代名詞（1） 人称代名詞の格変化・3人称の人称代名詞
第10回	人称代名詞（2） 3格と4格の語順・非人称のes・指示代名詞
第11回	不規則動詞（1） fahren型・sprechen型・sehen型
第12回	不規則動詞（2） その他の重要な不規則動詞
第13回	命令形（1） 命令する相手に応じた命令形の作り方
第14回	命令形（2） 命令する相手に応じた命令形の使い方
第15回	第1回～第14回で学んだ文法項目の総まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590017007	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (T6~T10) / German I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之 / Koga Masayuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student	T6 ~ T10		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2077/2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日昼休み及び授業前後(教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標 / Goal	ドイツ語Iで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法(学習指導法) / Method	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	文法説明 表現練習 対話形式		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 荻原・山崎 プロムナード やさしいドイツ語文法 白水社 (辞書は当面不要)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	共通テスト(30%)、定期試験(30%)、平常点(40%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	必要出席回数を上回る。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	平素より自発的に基本文法確認レポートを調べ、完成させておくことが望ましい。このクラスでは通常メールや電話で学生と担当教員が個別に連絡を取り合うことはありません。用件は教室内で直接教員に伝えるか、緊急の場合はまず上記教養教育事務室まで連絡して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツ語のアルファベットと基本的なあいさつ		
第2回	ドイツ語の発音 発音の3大原則・注意が必要な母音と子音		
第3回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(1) 人称代名詞(1格)・動詞の人称変化		
第4回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(2) 語順・おもな疑問詞		
第5回	名詞の性と格(1) 名詞の性・名詞の格		
第6回	名詞の性と格(2) 定冠詞の格変化・複数形・合成語		
第7回	定冠詞類と不定冠詞類(1) 定冠詞類の格変化・不定冠詞類の格変化		
第8回	定冠詞類と不定冠詞類(2) 所有冠詞・否定冠詞kein・否定の副詞nicht		

第9回	人称代名詞（1） 人称代名詞の格変化・3人称の人称代名詞
第10回	人称代名詞（2） 3格と4格の語順・非人称のes・指示代名詞
第11回	不規則動詞（1） fahren型・sprechen型・sehen型
第12回	不規則動詞（2） その他の重要な不規則動詞
第13回	命令形（1） 命令する相手に応じた命令形の作り方
第14回	命令形（2） 命令する相手に応じた命令形の使い方
第15回	第1回～第14回で学んだ文法項目の総まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590017008	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (D1・D2_K1~K3) / German I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Object Student	D1・2_K1~3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の初級文法を身につけ、単純な表現であれば理解し、自分でも表現できるようになることが第一のねらいです。 さらに、言語学習を単なる試験科目としてではなく、異文化との関わりや他者理解(あるいは自己理解)についての基本的視座を形成するための有力な手段と捉え、積極的に取り組めるようになってもらいたいと考えてます。		
授業到達目標/Goal	ドイツ語文法の基本的かつ重要な基礎を身に付ける。課外の自習や今後勉強を続ける場合に自分で調べ、考えることができるようになるための下地を作る。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業中は文法の説明、解説が中心になります。 練習問題は教科書のもので使いますが、文法事項を確認するための書き込み式プリントを別途配布する予定です。 ファイルやバインダー等を準備し、プリントをなくさないようにしてください。 また、途中から統一試験対策の単語テストも実施します。 気を抜かず自宅学習に取り組んでください。 既習事項の復習や問題の答え合わせにおいて、学生を指名して質問に答えてもらうことがありますが、難しかったり分からなかったりするのならばヒントを出して誘導します。遠慮せず意思表示してください。 学びの途中で分からないことや間違いがあるのは当然で、恥ずかしいことはありません。 失敗を恐れず積極的に授業に参加してください。		
授業内容/Class outline/Con	基本的には教科書の順番に沿って進みますが、授業計画あくまでも予定です。 クラスの雰囲気、みなさんの理解度に応じて授業の進度は変わります。 最初の数回は指定の教科書に載っていないあいさつ表現、辞書の見方、統一試験用の単語リストの見方等の説明にも時間を使います。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	森公成、渡辺広佐『クヴェレ・ドイツ文法』(同学社)。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	共通テスト3割・定期テスト7割で評価します。 定期テストの7割分に関しては、授業への取り組みや指定を守っているか(提出物等)によって加減します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を持参してください。 (第1回目の授業時はまだ用意してなくて大丈夫です。)		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐らなくて大丈夫です。 授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。		
授業計画詳細/Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(4/7)	授業の説明、ドイツ語のアルファベット、あいさつ
第2回(4/14)	発音
第3回(4/21)	発音続き、第1課(主語になる人称代名詞等)
第4回(4/28)	第1課続き(動詞の現在人称変化等)
第5回(5/12)	第1課続き(sein, haben, werden等)
第6回(5/19)	第2課(名詞の性、定冠詞、名詞の格等)
第7回(5/26)	第2課続き(不定冠詞等)
第8回(6/2)	第3課(複数形、男性弱変化名詞等)
第9回(6/9)	第4課(動詞の現在人称変化2等)
第10回(6/16)	第4課続き(命令等)
第11回(6/23)	第5課(冠詞類等)
第12回(6/30)	第5課続き(人称代名詞等)
第13回(7/7)	第6課(前置詞等)
第14回(7/14)	第6課続き(従属接続詞、副文等)
第15回(7/21)	前期復習、確認
第16回(7/28)	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590017009	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (P1・P2_F1・F2) / German I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Object Student	P 1・2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-nakai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館 5 2 4 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6399		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	授業のねらい: ドイツ語の初級文法を現在時制 (+ 未来形) の範囲内で学び、応用できるようにする。簡単な挨拶、数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な会話もできるようにする。		
授業到達目標/Goal	やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。あわせて日独の生活習慣上の相違点なども機会あるごとに説明していく。		
授業内容/Class outline/Con	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。第2回目までは特に予習の必要はないが、未知の単語の意味をしらべておくこと。第3回以降から練習問題などの予習も必要となるが、文法説明を受ける以前にその文法事項を含んだ問題を予習しなければならないことがしばしば起こる。その場合はできる範囲で問題を解けばよい。予習では、正解を見つけるのではなく、自分が何がわかり何が分からなかったかをはっきりさせることが、一番大事なことです。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	小島/仲井『やあ、みんな!』同学社 (なお初回時に辞書の説明をするので、それまで辞書は買わないでください。例年こちらが勤める以外の辞書を買って、後で困る人が出ています。参考書も特に買う必要はありません。)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	共通試験30点、個別試験70点の筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。(筆記試験総点×授業への参加状況0.8~1.2=成績)従って授業をおろそかにする人は、試験の合計が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してきてください。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	辞書の説明、発音		
第2回	発音、基数と西暦の読み方、現在人称変化、疑問詞		
第3回	定冠詞、不定冠詞、格の用法		
第4回	不規則動詞、命令形		
第5回	定冠詞類、不定冠詞類、人称代名詞		
第6回	名詞の複数形		
第7回	nichtとkein、目的語の語順		
第8回	前置詞		
第9回	形容詞と形容詞の名詞化		

第10回	話法の助動詞、未来形
第11回	序数と日付の表現
第12回	分離動詞、非分離動詞
第13回	従属接続詞と並列接続詞
第14回	間接疑問文
第15回	ランデスクンデ
第16回	まとめと定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590019001	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (G1 ~ G3) / German II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟2F 21番講義室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	多文化社会学部1年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	多文化社会学部2号館 (総合教育研究棟12F)		
担当教員TEL / Tel	819-2932		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日14:30-16:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標 / Goal	ドイツ語検定4級合格		
授業方法 (学習指導法) / Method	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業内容 / Class outline / Con	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
キーワード / Key word	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	秋田静男 (他) 『イン・ドイチュラント』朝日出版社 (2016) 独和辞典については講義中に指示 (自分の判断で買わないこと)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	予習・復習の実行状況 (15%) 講義中の取り組み方 (15%) 定期試験 (個別) (40%) 統一試験 (30%) 統一試験とは「ドイツ語II」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp 希望があれば、ハード面、ソフト面で最適解を探る。		
備考 (URL) / Remarks (URL)	http://h-semi.com/		
学生へのメッセージ / Message for students	各回に提示する課題にきちんと取り組むことが何より大切です。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	前置詞		
第2回	前置詞と定冠詞の融合形、定冠詞類		
第3回	話法の助動詞		
第4回	分離動詞		
第5回	複合動詞補足		
第6回	命令形		
第7回	時刻表現		
第8回	形容詞の格変化		
第9回	再帰代名詞と再帰動詞		

第10回	動詞の三基本形
第11回	過去人称変化
第12回	現在完了
第13回	従属接続詞
第14回	zu 不定詞
第15回	まとめ 試験対策
第16回	試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590019002	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (L1~L6_F3) / German II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育学部(L1~L6)・水産学部(F3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本を習得する		
授業到達目標/Goal	発音の基本ルールならびに初級文法事項を理解し、簡単な読解、作文、会話ができるようになること。		
授業方法(学習指導法)/Method	文法解説、音読、練習問題の実践ならびに会話練習を行います。適宜小テストを行い、それまでに習った文法事項や語彙が理解できているか確認します。		
授業内容/Class outline/Con	基本的に教科書に沿って進めていきますが、進度や理解の状況によって内容を変更する場合があります。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	本郷建治(他)『気分はドイツ Deutsch macht Spaß!』三修社 *「ドイツ語I」の教科書を引き続き使用します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト15% 授業への参加姿勢(積極性等)15% 定期試験40% 統一試験30% *統一試験とは「ドイツ語II」の履修者全員が受験する同一問題の試験です。		
受講要件(履修条件)/Requirements	独和辞典を持参してください。やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	前期の復習 現在完了形		
2回	現在完了形		
3回	分離動詞		
4回	分離動詞		
5回	形容詞		
6回	形容詞		
7回	再帰代名詞と再帰動詞		
8回	esの用法		
9回	定関係代名詞		
10回	不定関係代名詞		
11回	動作受動		
12回	状態受動		

13回	分詞・zu不定詞
14回	文法補足 ならびに統一試験の準備
15回	文法補足 ならびに統一試験の準備
16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590019003	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (E1~E6) / German II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之 / Koga Masayuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Object Student	E1 ~ E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2077/2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日昼休み及び授業前後(教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Goal	ドイツ語で学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	文法説明 表現練習 対話形式		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は前学期ドイツ語 で使用したものを継続します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	共通テスト(30%)、定期試験(30%)、平常点(40%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	必要出席回数を上回る。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	平素より自発的に基本文法確認レポートを調べ、完成させておくことが望ましい。このクラスでは通常メールや電話で学生と担当教員が個別に連絡を取り合うことはありません。用件は教室内で直接教員に伝えるか、緊急の場合はまず上記教養教育事務室まで連絡して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	前置詞(1) 3格支配の前置詞・4格支配の前置詞		
第2回	前置詞(2) 3 + 4格支配の前置詞・前置詞と定冠詞の融合		
第3回	前置詞(3) 前置詞と共に使われる動詞・2格支配の前置詞		
第4回	分離動詞 非分離動詞・枠構造		分離動詞と
第5回	接続詞 と並列接続詞・副文		従属接続詞
第6回	話法の助動詞(1) 話法の助動詞の種類と用法・manの使い方		
第7回	話法の助動詞(2) 話法の助動詞の種類と用法・未来形		
第8回	動詞の3基本形・過去形 過去形と過去分詞の作り方・過去形の使い方		

第9回	現在完了形（1） 現在完了形の作り方・haben支配とsein支配	
第10回	現在完了形（2） 現在完了形の使い方	
第11回	受動文 り方と使い方・状態受動	受動態の作
第12回	再帰代名詞 再帰代名詞と再帰動詞	
第13回	zu不定詞 zu不定詞の語順と用法	
第14回	形容詞・比較表現（1） 形容詞の3つの用法・形容詞の格変化	
第15回	形容詞・比較表現（2） 比較表現（比較級と最上級）	
第16回	定期試験	

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590019004	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (M1~M3) / German II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝 / Satuka Masakatu		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	M1~3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー / Office hours	質問等はメールで随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	(ドイツ語共通シラバスから) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する(接続法も含む)。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標 / Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。 		
授業方法 (学習指導法) / Method	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストに従いながら、文法の解説とドイツ語文の和訳・練習問題の演習を併せて進めてゆく。 ・単語については、よく調べておかなければならない。 ・発音やドイツ語文の朗読練習もする。 ・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。 		
授業内容 / Class outline / Con	<p>下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。 (共通シラバス)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、発音 <ul style="list-style-type: none"> ・基数と西暦の読み方 2、初級文法 <ul style="list-style-type: none"> ・形容詞(不加語的用法と述語的用法)と形容詞名詞化 ・序数と日付の表現 ・話法の助動詞 ・未来形 ・分離動詞と非分離動詞 ・動詞の三基本形 ・現在分詞と過去分詞 ・過去人称変化 ・現在完了 ・再帰代名詞と再帰動詞 ・zu不定詞 ・esの用法(自然現象、時刻の表現) ・不定代名詞man ・形容詞の原級、比較級、最上級 ・受動態と状態受動 ・関係代名詞 ・指示代名詞 ・接続法 3、コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> ・年齢、職業、国籍、専攻学問、誕生日の尋ね方、答え方 ・家族と趣味についての尋ね方と答え方 ・日付についての尋ね方と答え方 <p>前期に引き続いて、9課から16課まで。2回の授業で1課を終えるぐらいのペースで進む。</p>		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「新生ドイツ語文法 V6」 在間 進 著、朝日出版社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	共通試験(30%)、定期試験(約70%)、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価する。		

受講要件（履修条件）/Requirements	
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先（TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課、分離動詞、再帰代名詞など
第2回	第9課の続き、再帰動詞、練習問題
第3回	第10課、zu不定詞など
第4回	第10課の続き、zu不定詞句の用法、練習問題
第5回	第11課、動詞の三基本形、過去人称変化など
第6回	第11課の続き、接続詞、練習問題
第7回	第12課、現在完了、過去完了など
第8回	第12課の続き、枠構造、練習問題
第9回	第13課、受動態など
第10回	第13課の続き、状態受動、練習問題
第11回	第14課、比較表現、練習問題
第12回	第15課、関係代名詞など
第13回	第15課の続き、関係文、練習問題
第14回	第16課、接続法、接続法第一式など
第15回	第16課の続き、接続法第二式、練習問題
第16回	後期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590019005	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (M4~M6) / German II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝 / Satuka Masakatu		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	M4~6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問等はメールで随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(ドイツ語共通シラバスから) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、接続法を除くほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。 		
授業方法 (学習指導法) /Method	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストに従いながら、文法の解説と本文和訳・練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 ・発音やドイツ語文の朗読練習もする。 ・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。 		
授業内容/Class outline/Con	<p>下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。 (共通シラバス)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、発音 <ul style="list-style-type: none"> ・基数と西暦の読み方 2、初級文法 <ul style="list-style-type: none"> ・形容詞 (不加語的用法と述語的用法) と形容詞名詞化 ・序数と日付の表現 ・話法の助動詞 ・未来形 ・分離動詞と非分離動詞 ・動詞の三基本形 ・現在分詞と過去分詞 ・過去人称変化 ・現在完了 ・再帰代名詞と再帰動詞 ・zu不定詞 ・esの用法 (自然現象、時刻の表現) ・不定代名詞man ・形容詞の原級、比較級、最上級 ・受動態と状態受動 ・関係代名詞 ・指示代名詞 3、コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> ・年齢、職業、国籍、専攻学問、誕生日の尋ね方、答え方 ・家族と趣味についての尋ね方と答え方 ・日付と時刻についての尋ね方と答え方 <p>前期に引き続いて、6課から10課まで進む。各課に2~3回の授業を充てる。</p>		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「一歩ずつ 楽しいドイツ語」 小川さくえ、片岡律子 著、 同学社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	共通試験 (30%)、定期試験 (約70%)、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先（TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第6課、本文（かばん売り場で、はがきで連絡）の和訳、形容詞の語尾格変化など
第2回	第6課の続き、本文の和訳、指示代名詞、練習問題
第3回	第6課の続き、本文の和訳、比較級と最上級、練習問題
第4回	第7課、本文（薬を飲まなければなりません、Emmaの夢）の和訳、話法の助動詞、未来形など
第5回	第7課の続き、本文の和訳、zu不定詞、練習問題
第6回	第7課の続き、本文の和訳、zu不定詞句の用法、練習問題
第7回	第8課、本文（週末の予定、結婚式）の和訳、分離動詞、非分離動詞など
第8回	第8課の続き、本文の和訳、従属接続詞、練習問題
第9回	第8課の続き、本文の和訳、並列の接続詞、練習問題
第10回	第9課、本文（灰かぶり グリム童話、ベルリン壁物語）の和訳、動詞の三基本形、過去人称変化など
第11回	第9課の続き、本文の和訳、現在完了、練習問題
第12回	第9課の続き、本文の和訳、過去完了、練習問題
第13回	第10課、本文（環境問題、ドイツの観光地）の和訳、再帰代名詞、受動態など
第14回	第10課の続き、本文の和訳、状態受動、関係代名詞、練習問題
第15回	第10課の続き、本文の和訳、不定関係代名詞、接続法、練習問題
第16回	後期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590019006	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (T1~T5) / German II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之 / Koga Masayuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1 ~ T5		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2077/2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日昼休み及び授業前後 (教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標 / Goal	ドイツ語で学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	文法説明 表現練習 対話形式		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 清野智昭 ドイツ語の時間 <話すための文法> 朝日出版社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	共通テスト (30%)、定期試験 (30%)、平常点 (40%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	必要出席回数を上回る。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	平素より自発的に基本文法確認レポートを調べ、完成させておくことが望ましい。このクラスでは通常メールや電話で学生と担当教員が個別に連絡を取り合うことはありません。用件は教室内で直接教員に伝えるか、緊急の場合はまず上記教養教育事務室まで連絡して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	前置詞 (1) 3格支配の前置詞・4格支配の前置詞		
第2回	前置詞 (2) 3 + 4格支配の前置詞・前置詞と定冠詞の融合		
第3回	前置詞 (3) 前置詞と共に使われる動詞・2格支配の前置詞		
第4回	分離動詞 分離動詞と非分離動詞・枠構造		
第5回	接続詞 従属接続詞と並列接続詞・副文		
第6回	話法の助動詞 (1) 話法の助動詞の種類と用法・manの使い方		
第7回	話法の助動詞 (2) 話法の助動詞の種類と用法・未来形		

第8回	動詞の3基本形・過去形 過去形と過去分詞の作り方・過去形の使い方
第9回	現在完了形(1) 現在完了形の作り方・haben支配とsein支配
第10回	現在完了形(2) 現在完了形の使い方
第11回	受動文 受動態の作り方と使い方・状態受動
第12回	再帰代名詞 再帰代名詞と再帰動詞
第13回	zu不定詞 zu不定詞の語順と用法
第14回	形容詞・比較表現(1) 形容詞の3つの用法・形容詞の格変化
第15回	形容詞・比較表現(2) 比較表現(比較級と最上級)
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590019007	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (T6~T10) / German II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之 / Koga Masayuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student	T6 ~ T10		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2077/2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日昼休み及び授業前後(教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標 / Goal	ドイツ語で学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法(学習指導法) / Method	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かりやすく説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	文法説明 表現練習 対話形式		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 荻原・山崎 プロムナード やさしいドイツ語文法 白水社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	共通テスト(30%)、定期試験(30%)、平常点(40%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	必要出席回数を上回る。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	平素より自発的に基本文法確認レポートを調べ、完成させておくことが望ましい。このクラスでは通常メールや電話で学生と担当教員が個別に連絡を取り合うことはありません。用件は教室内で直接教員に伝えるか、緊急の場合はまず上記教養教育事務室まで連絡して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	前置詞(1) 3格支配の前置詞・4格支配の前置詞		
第2回	前置詞(2) 3+4格支配の前置詞・前置詞と定冠詞の融合		
第3回	前置詞(3) 前置詞と共に使われる動詞・2格支配の前置詞		
第4回	分離動詞 非分離動詞・枠構造		
第5回	接続詞 従属接続詞と並列接続詞・副文		
第6回	話法の助動詞(1) 話法の助動詞の種類と用法・manの使い方		
第7回	話法の助動詞(2) 話法の助動詞の種類と用法・未来形		
第8回	動詞の3基本形・過去形 詞の作り方・過去形の使い方		

第9回	現在完了形（1） 現在完了形の作り方・haben支配とsein支配
第10回	現在完了形（2） 現在完了形の使い方
第11回	受動文 受動態の作り方と使い方・状態受動
第12回	再帰代名詞 再帰代名詞と再帰動詞
第13回	zu不定詞 zu不定詞の語順と用法
第14回	形容詞・比較表現（1） 形容詞の3つの用法・形容詞の格変化
第15回	形容詞・比較表現（2） 比較表現（比較級と最上級）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590019008	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (P1・P2_F1・F2) / German II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之 / Koga Masayuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	P1・P2__F1・F2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2077/2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日昼休み及び授業前後 (教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Goal	ドイツ語 で学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	文法説明 表現練習 対話形式		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は前学期ドイツ語 で使用したものを継続します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	共通テスト (30%)、定期試験 (30%)、平常点 (40%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	必要出席回数を上回る。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	平素より自発的に基本文法確認レポートを調べ、完成させておくことが望ましい。このクラスでは通常メールや電話で学生と担当教員が個別に連絡を取り合うことはありません。用件は教室内で直接教員に伝えるか、緊急の場合はまず上記教養教育事務室まで連絡して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	前置詞 (1) 3格支配の前置詞・4格支配の前置詞		
第2回	前置詞 (2) 3 + 4格支配の前置詞・前置詞と定冠詞の融合		
第3回	前置詞 (3) 前置詞と共に使われる動詞・2格支配の前置詞		
第4回	分離動詞 非分離動詞・枠構造		
第5回	接続詞 詞と並列接続詞・副文		
第6回	話法の助動詞 (1) 話法の助動詞の種類と用法・manの使い方		
第7回	話法の助動詞 (2) 話法の助動詞の種類と用法・未来形		

第8回	動詞の3基本形・過去形 詞の作り方・過去形の使い方	過去形と過去分
第9回	現在完了形(1) の作り方・haben支配とsein支配	現在完了形
第10回	現在完了形(2) 現在完了形の使い方	
第11回	受動文 作り方と使い方・状態受動	受動態の
第12回	再帰代名詞 再帰代名詞と再帰動詞	
第13回	zu不定詞 zu不定詞の語順と用法	
第14回	形容詞・比較表現(1) 形容詞の3つの用法・形容詞の格変化	
第15回	形容詞・比較表現(2) 比較表現(比較級と最上級)	
第16回	定期試験	

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590019009	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (D1・D2_K1~K3) / German II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student	D1・2_K1~3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の初級文法を身につけ、単純な表現であれば理解し、自分でも表現できるようになることが第一のねらいです。 さらに、言語学習を単なる試験科目としてではなく、異文化との関わりや他者理解(あるいは自己理解)についての基本的視座を形成するための有力な手段と捉え、積極的に取り組めるようになってもらいたいと考えてます。		
授業到達目標/Goal	ドイツ語文法の基本的かつ重要な基礎を身に付ける。課外の自習や今後勉強を続ける場合に自分で調べ、考えることができるようになるための下地を作る。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業中は文法の説明、解説が中心になります。 練習問題は教科書のものでありますが、文法事項を確認するための書き込み式プリントを別途配布する予定です。 ファイルやバインダー等を準備し、プリントをなくさないようにしてください。 また、統一試験対策の単語テストも実施します。 気を抜かず自宅学習に取り組んでください。 既習事項の復習や問題の答え合わせにおいて、学生を指名して質問に答えてもらうことがありますが、難しかったり分からなかったりするのならばヒントを出して誘導します。遠慮せず意思表示してください。 学びの途中で分からないことや間違いがあるのは当然で、恥ずかしいことはありません。 失敗を恐れず積極的に授業に参加してください。		
授業内容/Class outline/Con	基本的には教科書の順番に沿って進みますが、授業計画はあくまでも予定です。 クラスの雰囲気、みなさんの理解度に応じて授業の進度は変わります。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	森公成、渡辺広佐『クヴェレ・ドイツ文法』(同学社)。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	共通テスト3割・定期テスト7割で評価します。 定期テストの7割分に関しては、授業への取り組みや指定を守っているか(提出物等)によって加減します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を毎回持参してください。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐らなくて大丈夫です。 授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回(10/6)	第7課(話法の助動詞等)		
第2回(10/13)	第7課続き(未来形等)		

第3回(10/20)	第8課(分離動詞・非分離動詞等)
第4回(10/27)	第8課続き(再帰、非人称主語es等)
第5回(11/10)	第9課(形容詞の語尾等)
第6回(11/17)	第9課続き(形容詞の語尾、形容詞の名詞化等)
第7回(11/24)	第9課続き(形容詞の比較変化等)
第8回(12/1)	第10課(動詞の3基本形等)
第9回(12/8)	第10課続き(動詞の過去人称変化等)
第10回(12/15)	第11課(完了形等)
第11回(12/22)	第11課続き(完了形等)
第12回(1/5)	第12課(受動態等)
第13回(1/12)	第12課続き(zu不定詞、分詞等)
第14回(1/19)	第13課(指示代名詞、関係代名詞等)
第15回(1/26)	第13課続き(関係代名詞等)
第16回(2/2)	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590021001	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2G1~2G3) / German III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之 / Koga Masayuki		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2G1-2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2077 / 2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日昼休み及び授業前後 (教室のみ)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	現代のドイツは拡大するEU (ヨーロッパ連合) の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識及び理解を深めていきます。		
授業到達目標/Goal	ドイツ語 までに学んだ初級文法の知識を、日常生活の各場面に応じたパ - トナー練習、ドリル練習を通じて定着させ、使えるようになること、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化について簡単に説明できるようになることです。また、未習の、より発展的な文法事項についても適宜取り扱います。		
授業方法 (学習指導法) /Method	学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り問題によってドイツ語の発音に慣れることです。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	楽しくパートナー練習 参加型教材		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 佐藤・下田 スツェーネン2 場面で学ぶドイツ語 コンパクト 三修社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	1. 定期試験の成績 (50%)、2. 毎時間の口頭発表及び課題の提出 (50%) で評価します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	必要出席回数を上回る。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	次回の授業で用いる会話表現の意味を自発的に調べ、覚えておくとい良いでしょう。このクラスでは通常メールや電話で学生と担当教員が個別に連絡を取り合うことはありません。用件は教室内で直接教員に伝えるか、緊急の場合はまず上記教養教育事務室まで連絡して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	レストランで (1) 「お持ち帰りですか、ここで食べますか」 話法の助動詞 不定冠詞 4格 数詞		
第2回	レストランで (2) 「注文したいのですが」 話法の助動詞 不定冠詞 4格 数詞		
第3回	レストランで (3) 「支払いをお願いします」 話法の助動詞 不定冠詞 4格 数詞		
第4回	ホテルで (1) 「アンナとパトリックはホテルを探しています」 話法の助動詞 指示代名詞 形容詞比較級・最上級		

第5回	ホテルで(2) 「アンナはインフォメーションでホテルの予約を頼みます」 話法の助動詞 指示代名詞 形容詞比較級・最上級
第6回	ホテルで(3) 「アンナとパトリックはホテルに滞在しています」 話法の助動詞 指示代名詞 形容詞比較級・最上級
第7回	街で(1) 「郵便局へはどう行ったらいいですか」 定冠詞1・4格 不定冠詞4格
第8回	街で(2) 「この近くでスーパーはどこにありますか」 定冠詞1・4格 不定冠詞4格
第9回	街で(3) 「日本への手紙はいくらですか」 定冠詞1・4格 不定冠詞4格
第10回	旅行と交通(1) 「ザビ・ネとパウルはハンブルクへ行きます」 話法の助動詞 分離動詞 数詞
第11回	旅行と交通(2) 「駅の券売窓口で」 話法の助動詞 分離動詞 数詞
第12回	旅行と交通(3) 「ハンブルクでは何ができますか」 話法の助動詞 非分離動詞 数詞
第13回	天気(1) 「そちらの天気はどうですか」 数詞 形容詞比較級・最上級
第14回	天気(2) 「雨が降ったので、家で勉強しました」 現在完了形 過去形 従属接続詞と副文
第15回	天気(3) 「風が吹いていたけれど、自転車に乗りました」 現在完了形 過去形 従属接続詞と副文
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590021002	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2L1~2L3_2F1~2F3) / German III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝 / Satuka Masakatu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Object Student	2L1~3, 2F1~3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー/Office hours	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにして、応用段階へと進む。 ・多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。 ・ドイツの社会事情、歴史や文化への理解を深める。 		
授業到達目標/Goal	報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものであれば、辞書を引きながらでも読むことができるまでに力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に従って、初級文法を確認し、応用しながら、ドイツ語文章を数多く読んでゆく。 ・平易なドイツ語で書き直された三編の童話を読むことを中心に置く。 ・関連する文法の練習問題に取り組む(適宜プリントで練習問題を補足)。 ・教室では毎回3~4人の人に和訳をしてもらう。前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこなければならない。 ・朗読練習 ・折に触れてレポートを課す。 		
授業内容/Class outline/Con	魔法で動物に変身させられる話、欲張り過ぎてすべての財産を失う話、魔女の魔法を解いて幸福をつかむ話、これら三編は物語としても楽しむことができる。 2回の授業で1課を終えるぐらいのペースで進む。前期は8課の半ばまで進む。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「童話で学ぶ 初級ドイツ語文法読本」 清水威能子、清水健次 著、朝日出版社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1課、発音練習と文法の確認、「こうのとりになったカリフ」(2ページ)、和訳と練習問題(動詞の現在人称変化など)		
第2回	第1課の続き、「こうのとりになったカリフ」(3ページ)、和訳と練習問題(動詞の現在人称変化、定動詞の位置など)		
第3回	第2課、「こうのとりになったカリフ」(6ページ)、和訳と練習問題(冠詞の格変化など)		
第4回	第2課の続き、「こうのとりになったカリフ」(7ページ)、和訳と練習問題(名詞の複数形など)		
第5回	第3課、「こうのとりになったカリフ」(10ページ)、和訳と練習問題(人称代名詞など)		
第6回	第3課の続き、「こうのとりになったカリフ」(11ページ)、和訳と練習問題(前置詞など)		
第7回	第4課、「こうのとりになったカリフ」(14ページ)、和訳と練習問題(動詞の三基本形など)		
第8回	第4課の続き、「こうのとりになったカリフ」(15ページ)、和訳と練習問題(従属接続詞など)		

第9回	第5課、「漁夫とその妻」(20ページ)、和訳と練習問題(不規則な動詞の現在人称変化など)
第10回	第5課の続き、「漁夫とその妻」(21ページ)、和訳と練習問題(命令法など)
第11回	第6課、「漁夫とその妻」(24ページ)、和訳と練習問題(形容詞の格語尾変化など)
第12回	第6課の続き、「漁夫とその妻」(25ページ)、和訳と練習問題(形容詞の比較など)
第13回	第7課、「漁夫とその妻」(28ページ)、和訳と練習問題(現在完了など)
第14回	第7課の続き、「漁夫とその妻」(29ページ)、和訳と練習問題(助動詞構文など)
第15回	第8課、「漁夫とその妻」(32ページ)、和訳と練習問題(分離動詞など)
第16回	前期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590021003	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2M1~2M3) / German III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Object Student	2M		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ドイツの文化・習慣・環境問題などをドイツ語会話を通して理解する。		
授業到達目標 / Goal	1年で習得したドイツ語文法に基づき、日常の場面に応じた会話を自らのドイツ語で表現すること。		
授業方法(学習指導法) / Method	二人一組にして、会話練習を重ね、音に慣れて、自然に発話できるようにします。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『スウェーデン 2』 場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	小テスト(50%)、定期試験(50%)		
受講要件(履修条件) / Requirements	独和辞典持参。古本でもかまいません。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツの映像を見ます。ドイツ語文法の簡単な復習。自己紹介とその質疑応答。		
第2回	旅行と交通。列車時刻表の見方。		
第3回	列車の発車・到着時刻を尋ねる。		
第4回	駅で切符を買う。		
第5回	レストランで食事を注文する。		
第6回	日本と違うレストランでの支払。		
第7回	ホテルを探す、予約する。		
第8回	街中で道を尋ねる。		
第9回	ユーロに両替をする。日本への切手を買う。		
第10回	ヨーロッパの天気について話す。		
第11回	週末に何をしたかを尋ねる。		
第12回	病状の表現。		
第13回	薬局で薬を買う。		

第14回	会社に病気で出勤できないと伝える。
第15回	いつ誰に何をプレゼントするかを話す。
第16回	プレゼントを買う。総復習。

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590021004	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2E1~2E6) / German III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Object Student	2E1~8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	作文練習問題を通しての語彙や語感の定着を目指す、またドイツ語のみならず日本語や英語との比較も通じて各言語の特徴や発想方法の違い等についての関心や理解を育てる。		
授業到達目標/Goal	まだ理解していない文法事項を確認し問題を解消すること、シンプルな文を暗記して、ドイツ語の語順や発想になれること。		
授業方法(学習指導法)/Method	教科書に沿って、作文の練習問題に取り組みます。解答・解説の際に文法や語彙についての復習や補足を行います。		
授業内容/Class outline/Con	教科書の例文や練習問題の中から数点をピックアップし、文法や語彙の復習・解説を行います。既習事項を確認する際は任意の学生を指名し、質問に答えてもらう場合があります。また、毎回の授業の最初にも学生を指名し、前回扱った問題の解答を板書してもらい、復習します。 分からないところや難しいことがあるのならばヒントを出して誘導しますので、遠慮せず意思表示をしてください。 間違いや知らないことがあるのは当たり前で、恥ずかしいことはありません。 失敗をおそれず積極的に授業に参加してください。 基本的には教科書に沿って進みますが、扱う章や順番は変更する場合があります。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	大岩信太郎『Deutsche Satzübungen für Anfänger(はじめての独作文)』(朝日出版社)。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	基本的に定期テストの点数で評価します。しかし授業への取り組み方を見て評点を多少加減する場合がありますので注意してください。特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を毎回持参してください。(定期試験では辞書の持込を許可します。普段から辞書を使うことに慣れておいてください。)		
受講要件(履修条件)/Requirements	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐らなくて大丈夫です。授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回(4/7)	授業の説明、名詞の性と数		
第2回(4/14)	動詞の現在形(1)		
第3回(4/21)	定冠詞と名詞の格変化(定冠詞類)		
第4回(4/28)	定動詞の位置(1)		
第5回(5/12)	動詞の現在形(2)		
第6回(5/19)	動詞の現在形(3)		

第7回(5/26)	定動詞の位置(2)
第8回(6/2)	不定冠詞と不定冠詞類(名詞の複数形)
第9回(6/9)	疑問代名詞
第10回(6/16)	人称代名詞
第11回(6/23)	前置詞(1)
第12回(6/30)	前置詞(2)
第13回(7/7)	前置詞(3)
第14回(7/14)	分離動詞
第15回(7/21)	過去形
第16回(7/28)	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590021005	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2T1~2T5) / German III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T1~2T5		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	1校時、2校時後の休み時間、及び昼休み時間		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業到達目標 / Goal	この授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツ旅行の際に、言葉に不自由しないこと。		
授業方法 (学習指導法) / Method	会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	小テスト (50%)、定期試験 (50%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	映像で同世代のドイツの若者達の生活を見る。ドイツ語で自己紹介。		
第2回	自分の1日の生活をドイツ語で表現する。		
第3回	列車の旅。時刻表の見方。		
第4回	レストランで注文する。		
第5回	食事代を支払う。		
第6回	2回から5回までの復習		
第7回	郵便局はどこにありますか。		
第8回	この近くにスーパーはありますか。		
第9回	日本への手紙はいくらですか。		
第10回	そちらの天気はどうか。		
第11回	7回から10回までの復習		
第12回	誕生日に何をプレゼントしますか。		
第13回	カメラ店で。		

第14回	ドイツの祝日。
第15回	1 2 回から 1 4 回までの復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590021006	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2T6~2T10) / German III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T6 ~ 2T10		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	初年次に学んだドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して定着させ、実践的語学力に高める。 特に声を出しながらの反復練習で、ドイツ語らしさを体得することに重きを置く。		
授業到達目標 / Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。 		
授業方法 (学習指導法) / Method	既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
授業内容 / Class outline / Con	<ul style="list-style-type: none"> * 初回より教科書を用いて授業する。 * 指示された範囲を辞書を駆使してしっかり予習してくる。朗読の練習もすること。 * 定期的な小テストを行う。小テストは授業内容および宿題を踏まえた内容で行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 * 積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。 		
キーワード / Key word	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	ドイツ語の時間 ビデオ教材 恋するベルリン		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	平素の学習 (宿題、授業への積極的参加、小テストなど) 50%、定期試験 (筆記試験、聞き取り試験) 50%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	独和辞書 (電子辞書も可) を準備し、毎回持参すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	発音規則の復習 (S.3-5) Lektion 1: Ankunft in Berlin (S.6-9) シャドーイング、ロールプレイ、文法、ディクテーション、作文		
第2回	小テスト Lektion 2: Beim Bäcker (S.10-13) シャドーイング、ロールプレイ、文法、ディクテーション、作文		

第3回	小テスト Lektion 3: Sprachkurs (S.14-15) シャドーイング、ロールプレイ、文法
第4回	Lektion 3: Sprachkurs (S.16-17) ディクテーション、作文
第5回	小テスト Lektion 4: In der Mensa (S.18-19) シャドーイング、ロールプレイ、文法
第6回	Lektion 4: In der Mensa (S.18-19) 文法、ディクテーション、作文
第7回	中間テスト Lektion 5: Beim Arzt (S.22-23) シャドーイング、ロールプレイ、文法
第8回	Lektion 5: Beim Arzt (S.22-23) 文法
第9回	Lektion 5: Beim Arzt (S.24-25) ディクテーション、作文
第10回	小テスト Lektion 6: Beim Studentenwohnheim (S.26-27) シャドーイング、ロールプレイ、文法
第11回	Lektion 6: Beim Studentenwohnheim (S.26-27) 文法
第12回	Lektion 6: Beim Studentenwohnheim (S.28-29) ディクテーション、作文
第13回	Lektion 7: Zum Wannsee (S.30-31) シャドーイング、ロールプレイ、文法
第14回	Lektion 7: Zum Wannsee (S.30-31) 文法
第15回	Lektion 7: Zum Wannsee (S.32-33) ディクテーション、作文
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590021007	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2D1・2D2_2K1~2K3) / German III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Object Student	2D1・2D2_2K1~2K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	初年次に学んだドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して定着させ、実践的語学力に高める。 特に声を出しながらの反復練習で、ドイツ語らしさを体得することに重きを置く。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。 		
授業方法(学習指導法)/Method	既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
授業内容/Class outline/Con	<ul style="list-style-type: none"> * 初回より教科書を用いて授業する。 * 指示された範囲を辞書を駆使してしっかり予習してくる。朗読の練習もすること。 * 定期的な小テストを行う。小テストは授業内容および宿題を踏まえた内容で行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 * 積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。 		
キーワード/Key word	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Beier-Taguchi/Seino: Ein Geist in Nürnberg - Deutsch für Anfänger. Dogakusha 2012.		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	平素の学習(宿題、授業への積極的参加、小テストなど)50%、定期試験(筆記試験、聞き取り試験)50%		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	独和辞書(電子辞書も可)を準備し、毎回持参すること。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	Lektion 1: S.1-6 シャドーイング、ロールプレイ、文法、ディクテーション、作文		
第2回	小テスト Lektion 2: S.7-12 シャドーイング、ロールプレイ、文法、ディクテーション、作文		
第3回	小テスト Lektion 3: S.13-15 シャドーイング、ロールプレイ、文法		

第4回	Lektion 3: S.16-18 ディクテーション、作文
第5回	小テスト Lektion 4: S.19-22 シャドーイング、ロールプレイ、文法
第6回	Lektion 4: S.23-24 文法、ディクテーション、作文
第7回	中間テスト Lektion 5: S.25-28 シャドーイング、ロールプレイ、文法
第8回	Lektion 5: S.26-28 文法
第9回	Lektion 5: S.29-30 ディクテーション、作文
第10回	小テスト Lektion 6: S.31-34 シャドーイング、ロールプレイ、文法
第11回	Lektion 6: S.32-34 文法
第12回	Lektion 6: S.35-36 ディクテーション、作文
第13回	Lektion 7: S.37-40 シャドーイング、ロールプレイ、文法
第14回	Lektion 7: S.38-40 文法
第15回	Lektion 7: S.41-42 ディクテーション、作文
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590021008	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2P1・2P2) / German III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2P1・2P2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	初年次に学んだドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して定着させ、実践的語学力に高める。 特に声を出しながらの反復練習で、ドイツ語らしさを体得することに重きを置く。		
授業到達目標 / Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。 		
授業方法 (学習指導法) / Method	既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
授業内容 / Class outline / Con	<ul style="list-style-type: none"> * 初回より教科書を用いて授業する。 * 指示された範囲を辞書を駆使してしっかり予習してくる。朗読の練習もすること。 * 定期的な小テストを行う。小テストは授業内容および宿題を踏まえた内容で行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 * 積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。 		
キーワード / Key word	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Beier-Taguchi/Seino: Ein Geist in Nürnberg? - Deutsch für Anfänger. Dogakusha 2012.		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	平素の学習 (宿題、授業への積極的参加、小テストなど) 50%、定期試験 (筆記試験、聞き取り試験) 50%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	独和辞書 (電子辞書も可) を準備し、毎回持参すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	発音規則の復習 Lektion 1: S.1-6 シャドーイング、ロールプレイ、文法、ディクテーション、作文		
第2回	小テスト Lektion 2: S.7-12 シャドーイング、ロールプレイ、文法、ディクテーション、作文		

第3回	小テスト Lektion 3: S.13-15 シャドーイング、ロールプレイ、文法
第4回	Lektion 3: S.16-18 ディクテーション、作文
第5回	小テスト Lektion 4: S.19-22 シャドーイング、ロールプレイ、文法
第6回	Lektion 4: S.23-24 文法、ディクテーション、作文
第7回	中間テスト Lektion 5: S.25-28 シャドーイング、ロールプレイ、文法
第8回	Lektion 5: S.26-28 文法
第9回	Lektion 5: S.29-30 ディクテーション、作文
第10回	小テスト Lektion 6: S.31-34 シャドーイング、ロールプレイ、文法
第11回	Lektion 6: S.32-34 文法
第12回	Lektion 6: S.35-36 ディクテーション、作文
第13回	Lektion 7: S.37-40 シャドーイング、ロールプレイ、文法
第14回	Lektion 7: S.38-40 文法
第15回	Lektion 7: S.41-42 ディクテーション、作文
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590023001	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2G1~2G3) / German IV		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之 / Koga Masayuki		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student	2G1-2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2077/2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日昼休み及び授業前後(教室のみ)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識及び理解を深めていきます。		
授業到達目標/Goal	ドイツ語 までに学んだ初級文法の知識を、日常生活の各場面に応じたパ-トナー練習、ドリル練習を通じて定着させ、使えるようになること、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化について簡単に説明できるようになることです。また、未習の、より発展的な文法事項についても適宜取り扱います。		
授業方法(学習指導法)/Method	学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り問題によってドイツ語の発音に慣れることです。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	楽しくパートナー練習 参加型教材		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 佐藤・下田 スツェーネン2 場面で学ぶドイツ語 コンパクト 三修社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表及び課題の提出(50%)で評価します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	必要出席回数を上回ること。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	次回の授業で用いる会話表現の意味を自発的に調べ、覚えておくとい良いでしょう。このクラスでは通常メールや電話で学生と担当教員が個別に連絡を取り合うことはありません。用件は教室内で直接教員に伝えるか、緊急の場合はまず上記教養教育事務室まで連絡して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	健康と体の手入れ(1) 「ヴェーバー氏は病気です」 話法の助動詞 数詞		
第2回	健康と体の手入れ(2) 「薬局で」 不定冠詞4格 否定冠詞4格		
第3回	健康と体の手入れ(3) 「まだ、ひげを剃らなくてはならない」 現在完了形 話法の助動詞 再帰動詞 再帰代名詞		
第4回	贈り物と招待(1) 「誰に何を贈りますか」 人称代名詞3格 不定冠詞4格 目的語を二つとる動詞		

第5回	贈り物と招待(2) 「自転車用ヘルメットをプレゼントしたら」 現在完了形 話法の助動詞 副文 目的語を二つとる動詞
第6回	贈り物と招待(3) 「カメラ店で」 不定冠詞4格 指示代名詞 形容詞最上級
第7回	履歴と学校制度(1) 「入学試験を受けなければなりませんか」 話法の助動詞 副文
第8回	履歴と学校制度(2) 「ドイツの学校」 過去形 現在完了形
第9回	履歴と学校制度(3) 「何に興味がありますか」 接続法 式 再帰動詞
第10回	ゴミと環境(1) 「このピンはどうしますか」 話法の助動詞 命令形
第11回	ゴミと環境(2) 「よくするには、どうすべきでしょう」 話法の助動詞 命令形 副文
第12回	祝祭と祝日(1) 「復活祭」 受動文
第13回	祝祭と祝日(2) 「ドイツと日本の年末」 再帰動詞 話法の助動詞 命令形 間接疑問文
第14回	祝祭と祝日(3) 「アドベントとはどういう意味ですか」 話法の助動詞 受動文
第15回	祝祭と祝日(4) 「ドイツでは何を食べますか」 現在完了形 副文 状態受動
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590023002	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2L1~2L3_2F1~2F3) / German IV		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝 / Satuka Masakatu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Object Student	2L1~3, 2F1~3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー/Office hours	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにして、応用段階へと進む。 ・多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。 ・ドイツの社会事情、歴史や文化への理解を深める。 		
授業到達目標/Goal	報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものだけでなく、辞書を引きながらでも読むことができるまでに力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> ・前期の教科書を引き続いて使用。 ・教科書に従って、初級文法を確認し、応用しながら、平易なドイツ語文章を数多く読んでゆく。 ・(前期に引き続いて)平易なドイツ語で書き直された三編の童話を読むことを中心に置く。 ・関連する文法の練習問題に取り組む(適宜プリントで練習問題を補足)。 ・教室では毎回3~4人の人に和訳をしてもらう。前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこなければならない。 ・朗読練習 ・折に触れてレポートを課す。 		
授業内容/Class outline/Con	<ul style="list-style-type: none"> ・魔法で動物に変身させられる話、欲張り過ぎてすべての財産を失う話、魔法の魔法を解いて幸福をつかむ話、これら三編は物語としても楽しむことができる。 ・後期は8課の半ばから始めて12課まで読む。2~3回の授業で1課を終える。 		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「童話で学ぶ 初級ドイツ語文法読本」 清水威能子、清水健次 著、朝日出版社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第8課の続き、「漁夫とその妻」(33ページ)、和訳と練習問題(非人称動詞など)		
第2回	第9課、「こびとの鼻太郎」(38ページ)、和訳と練習問題(受動態など)		
第3回	第9課の続き、「こびとの鼻太郎」(39ページ)、和訳と練習問題(状態受動など)		
第4回	第10課、「こびとの鼻太郎」(42ページ)、和訳と練習問題(関係代名詞など)		
第5回	第10課の続き、「こびとの鼻太郎」(43ページ)、和訳と練習問題(指示代名詞など)		
第6回	第10課の続き、「こびとの鼻太郎」(42~43ページ)、和訳と練習問題(不定関係代名詞など)		
第7回	第11課、「こびとの鼻太郎」(46ページ)、和訳と練習問題(話法の助動詞など)		
第8回	第11課の続き、「こびとの鼻太郎」(47ページ)、和訳と練習問題(話法の助動詞に準じる動詞など)		

第9回	第11課の続き、「こびとの鼻太郎」(46~47ページ)、和訳と練習問題(補足)
第10回	第12課、「こびとの鼻太郎」(50ページ)、和訳と練習問題(接続法など)。
第11回	第12課の続き、「こびとの鼻太郎」(51ページ)、和訳と練習問題(接続法の続きなど)
第12回	第12課の続き、「こびとの鼻太郎」(52ページ)、和訳と練習問題(補足)
第13回	補足テキスト「灰かぶり」、和訳と練習問題、文法の補足(関係代名詞など)
第14回	補足テキスト「ヘンゼルとグレーテル」、和訳と練習問題、文法の補足(接続法など)
第15回	補足テキスト「赤ずきん」、和訳と練習問題、文法の補足(接続法の用法など)
第16回	後期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590023003	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2M1~2M3) / German IV		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Object Student	医学部(2M1~2M3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ語学習を通じて理解するとともに、対応する日本事情のドイツ語表現についても学びます。		
授業到達目標/Goal	これまでに学んだ文法・語彙などを定着させる。 上記に加えて発展的な文法事項・語彙を学び、より豊かで自然な表現方法を身に着ける。		
授業方法(学習指導法)/Method	ペアワークやグループでの実践的な対話練習や、やや複雑な作文と読解、自宅での課題学習を通じて上記の目標を達成する。 学習事項の定着をはかるため、小テストを行います(毎回の予定)。 また、復習を目的とした課題(作文など)を提出してもらうことがありますので、積極的に取り組んでください。		
授業内容/Class outline/Con	基本的に教科書に沿って進めていきますが、進度や理解の状況によって内容を変更する場合があります。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	佐藤修子(他)『スツェーネン2 場面で学ぶドイツ語』三修社 *「ドイツ語III」の教科書を引き続き使用します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト20% 課題20% 授業への参加姿勢(積極性等)10% 定期試験50%		
受講要件(履修条件)/Requirements	独和辞典を持参してください。やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業内での取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	前期の復習 人物描写 パーティには何を着ていきますか		
2回	人物描写 どんな容姿・外見の人物ですか		
3回	ゴミと環境 ゴミは、どこにいくと思いますか		
4回	ゴミと環境 ドイツの学校の環境プロジェクト		
5回	禁止と命令 ここで犬を放してはいけません		
6回	禁止と命令 何歳になったら、何ができますか		
7回	履歴と学校制度 ドイツの義務教育は何年ですか		
8回	履歴と学校制度 何に興味がありますか		
9回	履歴と学校制度 入社面接		
10回	祝祭と祝日 復活祭		
11回	祝祭と祝日 イースターはなぜ特別なお祭りなのですか		

12回	祝祭と祝日 カーニバル
13回	年末年始 ドイツと日本の年末
14回	年末年始 クリスマスには何をしますか
15回	補足・文法事項のまとめ・定期試験への準備
16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590023004	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2E1~2E6) / German IV		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student	2E1~8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	作文練習問題を通しての語彙や語感の定着を目指す、またドイツ語のみならず日本語や英語との比較も通じて各言語の特徴や発想方法の違い等についての関心や理解を育てる。		
授業到達目標/Goal	まだ理解していない文法事項を確認し問題を解消すること、シンプルな文を暗記して、ドイツ語の語順や発想になれること。		
授業方法(学習指導法)/Method	教科書に沿って、作文の練習問題に取り組みます。解答・解説の際に文法や語彙についての復習や補足を行います。		
授業内容/Class outline/Con	教科書の例文や練習問題の中から数点をピックアップし、文法や語彙の復習・解説を行います。既習事項を確認する際は任意の学生を指名し、質問に答えてもらう場合があります。また、毎回の授業の最初にも学生を指名し、前回の扱った問題の解答を板書してもらい復習します。 分からないところや難しいことがあるのならばヒントを出して誘導しますので、遠慮せず意思表示をしてください。 間違いや知らないことがあるのは当たり前で、恥ずかしいことはありません。 失敗をおそれず積極的に授業に参加してください。 基本的には教科書に沿って進みますが、扱う章や順番は変更する場合があります。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	大岩信太郎『Deutsche Satzübungen für Anfänger(はじめての独作文)』(朝日出版社)。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	基本的に定期テストの点数で評価します。しかし授業への取り組み方を見て評点を多少加減する場合がありますので注意してください。		
受講要件(履修条件)/Requirements	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を毎回持参してください。(定期試験では辞書の持込を許可します。普段から辞書を使うことに慣れておいてください。)		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐らなくて大丈夫です。授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回(10/6)	現在完了形・過去完了(未来形・未来完了)		
第2回(10/13)	形容詞の格変化		
第3回(10/20)	受動		
第4回(10/27)	zu不定詞[句]		
第5回(11/10)	比較		
第6回(11/17)	非人称		

第7回(11/24)	話法の助動詞(1)
第8回(12/1)	話法の助動詞(2)
第9回(12/8)	関係代名詞
第10回(12/15)	指示代名詞
第11回(12/22)	再帰代名詞
第12回(1/5)	命令法・分詞
第13回(1/12)	要求話法
第14回(1/19)	非現実話法
第15回(1/26)	間接話法
第16回(2/2)	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590023005	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2T1~2T5) / German IV		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T1~2T5		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	m-nakai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	経済学部本館5階		
担当教員TEL / Tel	095-820-6399		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後。それ以外は上記メールアドレスが電話でアポを取ること。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ドイツの文化・習慣・環境問題などをドイツ語会話を通して理解する。		
授業到達目標 / Goal	1年で習得したドイツ語文法に基づき、日常の場面に応じた会話を自らのドイツ語で表現すること。		
授業方法 (学習指導法) / Method	二人一組で、会話練習を重ね、音に慣れて、自然に発話できるようにします。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	小テスト (50%)、定期試験 (50%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	独和辞典持参。古本でもかまいません。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツの映像を見る。前期の復習。		
第2回	服装の好みを話す。		
第3回	服を買う。		
第4回	ゴミの分別。		
第5回	エネルギーの節約。		
第6回	学校の環境プロジェクト。		
第7回	公共の場所で禁止・許可されていること。		
第8回	何歳で何が出来るか。18歳で飲酒。		
第9回	教育制度について。		
第10回	卒業資格と職業。		
第11回	職業相談所で。		
第12回	ドイツの祝日はほとんどがキリスト教に関係している。		
第13回	イースターについて。		
第14回	クリスマスとアトベント。		

第15回	ドイツと日本の年末年始。
第16回	総復習。

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590023006	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2T6~2T10) / German IV		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Object Student	2T6~2T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	初年次に学んだドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して定着させ、実践的語学力に高める。 特に声を出しながらの反復練習で、ドイツ語らしさを体得することに重きを置く。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。 		
授業方法(学習指導法)/Method	既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
授業内容/Class outline/Con	<ul style="list-style-type: none"> * 初回より教科書を用いて授業する。 * 指示された範囲を辞書を駆使してしっかり予習してくる。朗読の練習もすること。 * 定期的な小テストを行う。小テストは授業内容および宿題を踏まえた内容で行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 * 積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。 		
キーワード/Key word	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	ドイツ語の時間 ビデオ教材 恋するベルリン		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	平素の学習(宿題、授業への積極的参加、小テストなど)50%、定期試験(筆記試験、聞き取り試験)50%		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	独和辞書(電子辞書も可)を準備し、毎回持参すること。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	Lektion 8: Beim Friseur (S.34-35) シャドーイング、ロールプレイ、文法		
第2回	Lektion 8: Beim Friseur (S.34-35) 文法		
第3回	Lektion 8: Beim Friseur (S.36-37) ディクテーション、作文		

第4回	小テスト Lektion 9: In einem Biergarten (S.38-39) シャドーイング、ロールプレイ、文法
第5回	Lektion 9: In einem Biergarten (S.38-39) 文法
第6回	Lektion 9: In einem Biergarten (S.40-41) ディクテーション、作文
第7回	中間テスト Lektion 10: In einer Boutique (S.42-43) シャドーイング、ロールプレイ、文法
第8回	Lektion 10: In einer Boutique (S.42-43) 文法
第9回	Lektion 10: In einer Boutique (S.44-45) ディクテーション、作文
第10回	小テスト Lektion 11: Philipps Geburtstag (S.46-47) シャドーイング、ロールプレイ、文法
第11回	Lektion 11: Philipps Geburtstag (S.46-47) 文法
第12回	Lektion 11: Philipps Geburtstag (S.48-49) ディクテーション、作文
第13回	小テスト Lektion 12: Vor der Abreise (S.50-51) シャドーイング、ロールプレイ、文法
第14回	Lektion 12: Vor der Abreise (S.50-51) 文法
第15回	Lektion 12: Vor der Abreise (S.52-53) ディクテーション、作文
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590023007	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2D1・2D2_2K1~2K3) / German IV		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Object Student	2D1・2D2_2K1~2K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	初年次に学んだドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して定着させ、実践的語学力に高める。 特に声を出しながらの反復練習で、ドイツ語らしさを体得することに重きを置く。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。 		
授業方法(学習指導法)/Method	既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
授業内容/Class outline/Con	<ul style="list-style-type: none"> * 初回より教科書を用いて授業する。 * 指示された範囲を辞書を駆使してしっかり予習してくる。朗読の練習もすること。 * 定期的な小テストを行う。小テストは授業内容および宿題を踏まえた内容で行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 * 積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。 		
キーワード/Key word	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Beier-Taguchi/Seino: Ein Geist in Nürnberg - Deutsch für Anfänger. Dogakusha 2012.		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	平素の学習(宿題、授業への積極的参加、小テストなど)50%、定期試験(筆記試験、聞き取り試験)50%		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	独和辞書(電子辞書も可)を準備し、毎回持参すること。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Lektion 8: S.43-46 シャドーイング、ロールプレイ、文法		
第2回	Lektion 8: S. 文法		
第3回	Lektion 8: S. ディクテーション、作文		

第4回	小テスト Lektion 9: S. シャドーイング、ロールプレイ、文法
第5回	Lektion 9: S. 文法
第6回	Lektion 9: S. ディクテーション、作文
第7回	中間テスト Lektion 10: S. シャドーイング、ロールプレイ、文法
第8回	Lektion 10: S. 文法
第9回	Lektion 10: S. ディクテーション、作文
第10回	小テスト Lektion 11: S. シャドーイング、ロールプレイ、文法
第11回	Lektion 11: S. 文法
第12回	Lektion 11: S. ディクテーション、作文
第13回	小テスト Lektion 12: S. シャドーイング、ロールプレイ、文法
第14回	小テスト Lektion 12: S. 文法
第15回	小テスト Lektion 12: S. ディクテーション、作文
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590023008	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2P1・2P2) / German IV		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2P1・2P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	初年次に学んだドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して定着させ、実践的語学力に高める。 特に声を出しながらの反復練習で、ドイツ語らしさを体得することに重きを置く。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。 		
授業方法 (学習指導法) /Method	既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
授業内容/Class outline/Con	<ul style="list-style-type: none"> * 初回より教科書を用いて授業する。 * 指示された範囲を辞書を駆使してしっかり予習してくる。朗読の練習もすること。 * 定期的な小テストを行う。小テストは授業内容および宿題を踏まえた内容で行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 * 積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。 		
キーワード/Key word	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Beier-Taguchi/Seino: Ein Geist in Nürnberg - Deutsch für Anfänger. Dogakusha 2012.		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	平素の学習 (宿題、授業への積極的参加、小テストなど) 50%、定期試験 (筆記試験、聞き取り試験) 50%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	独和辞書 (電子辞書も可) を準備し、毎回持参すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Lektion 8: S.43-46 シャドーイング、ロールプレイ、文法		
第2回	Lektion 8: S. 文法		
第3回	Lektion 8: S. ディクテーション、作文		

第4回	小テスト Lektion 9: S. シャドーイング、ロールプレイ、文法
第5回	Lektion 9: S. 文法
第6回	Lektion 9: S. ディクテーション、作文
第7回	中間テスト Lektion 10: S. シャドーイング、ロールプレイ、文法
第8回	Lektion 10: S. 文法
第9回	Lektion 10: S. ディクテーション、作文
第10回	小テスト Lektion 11: S. シャドーイング、ロールプレイ、文法
第11回	Lektion 11: S. 文法
第12回	Lektion 11: S. ディクテーション、作文
第13回	小テスト Lektion 12: S. シャドーイング、ロールプレイ、文法
第14回	小テスト Lektion 12: S. 文法
第15回	小テスト Lektion 12: S. ディクテーション、作文
第16回	定期試験